

### Ⅲ 離床を行う上での基礎技術

#### Ⅲ-4. フィジカルアセスメント（運動機能）

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□Ⅲ-4.1 運動機能（全般）	□Ⅲ-4.1.1 全身状態を把握できる	□ 全身を観察し（Head to toe）、運動機能の障害（外傷・四肢欠損など）がないか、また骨格や筋肉の障害がないか観察できる。	K-04 ページ R-32 がん J-07 フィ実		○
		□ 肥満・やせ・姿勢・皮膚の色・顔色・表情を観察できる			○
		□ ADLへの影響を確認できる			○
	□Ⅲ-4.1.2 運動機能と離床の関係について理解している	□ 運動機能のアセスメント結果より離床の可否・介助度の判断ができる	K-04 ページ J-07 フィ実  完全2 P54 フィジ P84-P85		☆
□Ⅲ-4.2 筋力（麻痺）	□Ⅲ-4.2.1 筋力・運動麻痺のアセスメントができる	□ 四肢の簡便な運動スクリーニングテストを用いて筋力・運動麻痺の評価ができる	K-04 ページ K-05 実技入門 J-07 フィ実  完全2 P51-P54 フィジ P82-P85		○
		□ MMTを用いて筋力を評価できる	フィジ P93-P96 脳ガイド P114-P117		○
		□ MRC Sum Scoreを用いて評価できる	完全2 P54 フィジ P94		○
	□Ⅲ-4.2.2 筋力（麻痺）と離床の関係について理解している	□ 筋力（麻痺）のアセスメント結果から離床の可否・介助度の判断ができる	K-04 ページ K-05 実技入門 J-07 フィ実  完全2 P54 フィジ P84-P85		◇
□Ⅲ-4.3 関節可動域検査	□Ⅲ-4.3.1 関節可動域評価について理解している	□ 上肢下肢の簡便な運動スクリーニングテストを用いて関節可動域の評価ができる	K-04 ページ K-05 実技入門 J-07 フィ実  完全2 P51-P54 フィジ P82-P85		○
		□ 関節可動域から最終域感（End feel）を評価できる	フィジ P92		○
		□Ⅲ-4.3.2 関節可動域検査と離床について理解している	□ 関節可動域検査結果から離床の可否・介助度の判断ができる	K-04 ページ K-05 実技入門 J-07 フィ実  フィジカル P88 P93	
□Ⅲ-4.4 バランス	□Ⅲ-4.4.1 バランスを評価するスケールについて理解している	□ TUG(Time Up and Go)テストを用いて、バランスの評価ができる	J-07 フィ実  完全2 P56 フィジ P87		○
		□ FSST(Four Square Step Test)を用いて、バランスの評価ができる	フィジ P87		○
		□ FRT(Functional Reach Test)を用いて、バランスの評価ができる	フィジ P86		○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□Ⅲ-4.5 運動機能の評価	□Ⅲ-4.5.1 動作能力予測テストについて理解している	□動作能力予測テストを用いて、運動機能の評価ができる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-07 フィ実		○
	□Ⅲ-4.5.2 日常生活動作の評価するスケールについて理解している	□Barthel Indexを用いて、日常生活動作の評価ができる	完全2 P56		○
		□FIM(Functional Independence Measure)を用いて、日常生活動作の評価ができる			○
	□Ⅲ-4.5.3 日常生活動作と離床の関係について理解している	□日常生活動作と離床の関係について説明できる			☆

大項目	中項目	小項目	確認印
／ 5	／ 10	／ 18	

中項目の点数は P153 に転記して下さい